

平成27年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補 県単

| 事業名 | | 事業箇所 | | 地区名 | 事業主体 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------------|------------------|---------------|------|--|----------|----------------------|----------|------|--|-----------------------------------|------------------|-----|----------|--------|--------|
| 街路事業 [街路事業 (国補・県単)] | | 甲府市 千塚 | | (都) 高畑町昇仙峡線 | 山梨県 | | | | | | | | | | | | |
| | 当初計画 | 現計画 | 今回見直し予定 | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画期間 | H22年度～H28年度 | H22年度～H28年度 | H22年度～H30年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 総事業費 | 1,050百万円 | 1,430百万円 | 1,570百万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 事業の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>事業目的及び効果</p> <p>・都市計画道路 高畑町昇仙峡線は、甲府市高畑を起点とし、甲府市山宮町へ至る延長約7.3kmの幹線道路であり、今後建設が予定されている新山梨環状道路(仮称)牛匂ICと接続予定である等、県内道路ネットワークを構成する重要な路線の一つである。本工区である甲府韮崎線から北側については観光地である御岳昇仙峡へのアクセス道路であるとともに、地域の幹線道路として利用されており、沿線小学校等の通学路にもなっているが、自動車通行量が多く、歩道も未整備であるため、通学する児童等が危険にさらされている。このため、IC、観光地、及び駅へのアクセス向上、歩行者・自転車の安全確保を目的に未改良区間延長400mの道路改良工事及び延長618mの電線類の地中化を実施する。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長 L = 618m (うち 道路改良 L = 400m) W = 6.0 (16.0)m 車道幅員 6.0m (2車線) 歩道幅員 4.5m (両側)</p> <p>現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度まで</th> <th>平成27年度 (評価実施年度)</th> <th>平成28年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量設計 用地取得・補償 電線共同溝 L=218m 舗装工 L=218m</td> <td>道路改良 L=400m 電線共同溝 L=400m</td> <td>舗装工 L=618m 補償</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,080百万円</td> <td>200百万円</td> <td>150百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>特記事項 今後建設が予定されている新山梨環状道路北部区間 (仮称)牛匂ICへのアクセス道路となる予定である。</p> | | | | | | | 平成26年度まで | 平成27年度 (評価実施年度) | 平成28年度以降 | 工事内容 | 測量設計 用地取得・補償 電線共同溝 L=218m 舗装工 L=218m | 道路改良 L=400m 電線共同溝 L=400m | 舗装工 L=618m 補償 | 事業費 | 1,080百万円 | 200百万円 | 150百万円 |
| | 平成26年度まで | 平成27年度 (評価実施年度) | 平成28年度以降 | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事内容 | 測量設計 用地取得・補償 電線共同溝 L=218m 舗装工 L=218m | 道路改良 L=400m 電線共同溝 L=400m | 舗装工 L=618m 補償 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 1,080百万円 | 200百万円 | 150百万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>再評価時等の評価状況</p> <p>(道路改良) 「平成21年度事前評価」 この事業は、都市計画道路 高畑町昇仙峡線のうち、県道甲府韮崎線交差点付近から昇仙峡方面に向け、延長400mについて整備するものである。本事業は、甲府市中心部への通勤車両や昇仙峡への観光車両など交通量が多い区間について、通学路にも指定されているため自転車歩行者道の設置と併せ拡幅整備を行うものであり、生活車両や歩行者等の安全確保、また本県の代表的な観光地である昇仙峡へのアクセス道路として整備する必要があることから、実施が妥当である。 なお、本路線の整備効果の発現を高めるためには、本事業区間も含め残る未整備区間の整備が必要であることから、時間管理を徹底し、計画的な執行に努められたい。</p> <p>参考 電線共同溝については、「平成23年度事前評価」実施済。 (10億円以下のため、外部評価対象外)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)</p> <p>地域・住民の意向状況 なし 産業・経済情勢 なし 国等の方針変更 H28年度に地域高規格道路ICアクセス道路補助制度が創設される。</p> <p>上位計画・関連事業計画等の変更 無電柱化を推進すべく、電線共同溝を整備すべき道路に県が指定。(H22年度)</p> <p>自然環境条件等の変化 なし その他 H24年度、道路管理者、交通管理者及び教育委員会で実施した、通学路緊急合同点検により、対策路線となった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時計画における事業全体B/C (平成21年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.4 > 1.0 ・再評価時計画における事業全体B/C (平成27年度) 便益 (B) / 費用 (C) = 1.4 > 1.0 <p>(国土交通省費用便益分析マニュアルにより算出した場合、1.3) 電線共同溝は便益が算出できないため、経済効率性の算定対象としていない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]

これまでの計画変更等の概要

H22年度に、県が本路線を電線共同溝を整備すべき路線に指定したことにより、電線共同溝事業（L=618m）の事前評価をH23年度に実施。（総事業費3.8億円）

施行済みの事業内容（（1）「全体計画」に記載した内容と比較）

| | 平成26年度まで | 平成27年度 (評価実施年度) | 平成28年度以降 |
|------|--|--|--|
| 工事内容 | 測量設計 用地取得・補償 道路改良L=250m 電線共同溝L =749m 舗装工 L=210m | 用地取得・補償 道路改良L=100m 電線共同溝 L=140m | 用地取得・補償 道路改良L=350m 電線共同溝L =350m 舗装工 L=400m |
| 事業費 | 1,002百万円 | 139百万円 | 289百万円 |

進捗率（現計画に対する実績）

| | *H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|-----|------|------|------|------|------|------|-------|
| 計 画 | 2.1 | 19.6 | 40.6 | 61.5 | 75.5 | 89.5 | 100.0 |
| 実 績 | 2.4 | 19.7 | 41.6 | 64.5 | 70.1 | 79.7 | |

| | 算出方法 |
|-----|--------------------|
| 計 画 | 計画事業費 / 総事業費 × 100 |
| 実 績 | 実施事業費 / 総事業費 × 100 |

*事業着手年度。H27年度実績は見込み。

事業の進捗が順調でない理由

- 平成27年度現時点での用地の取得率は73 / 83件で87.9%で未契約者は10件である。
- 残り10件は事業への理解は得られているが、代替地の選定や相続整理等に時間を要し買収に至っていないことによる。

今後の事業執行上の問題点

未契約用地の取得。
補償物件の現地詳細調査により、補償費が増大した。

今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載）

未取得の用地に関しては、早期の問題解決に努め、工期を2年延長し、平成30年度の完成を目指す。

事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）

・総事業費の見直し

| 内 容 | 事 業 費 |
|---------|----------|
| 建物補償費の増 | 140百万円の増 |

(5) 評価項目 [環境への配慮]

本区間の周辺は、古くから市街化されている区域であり、自然環境への影響は少ない。植栽を実施する計画であり、良好な生活環境を確保する予定である。

(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]

なし

(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]

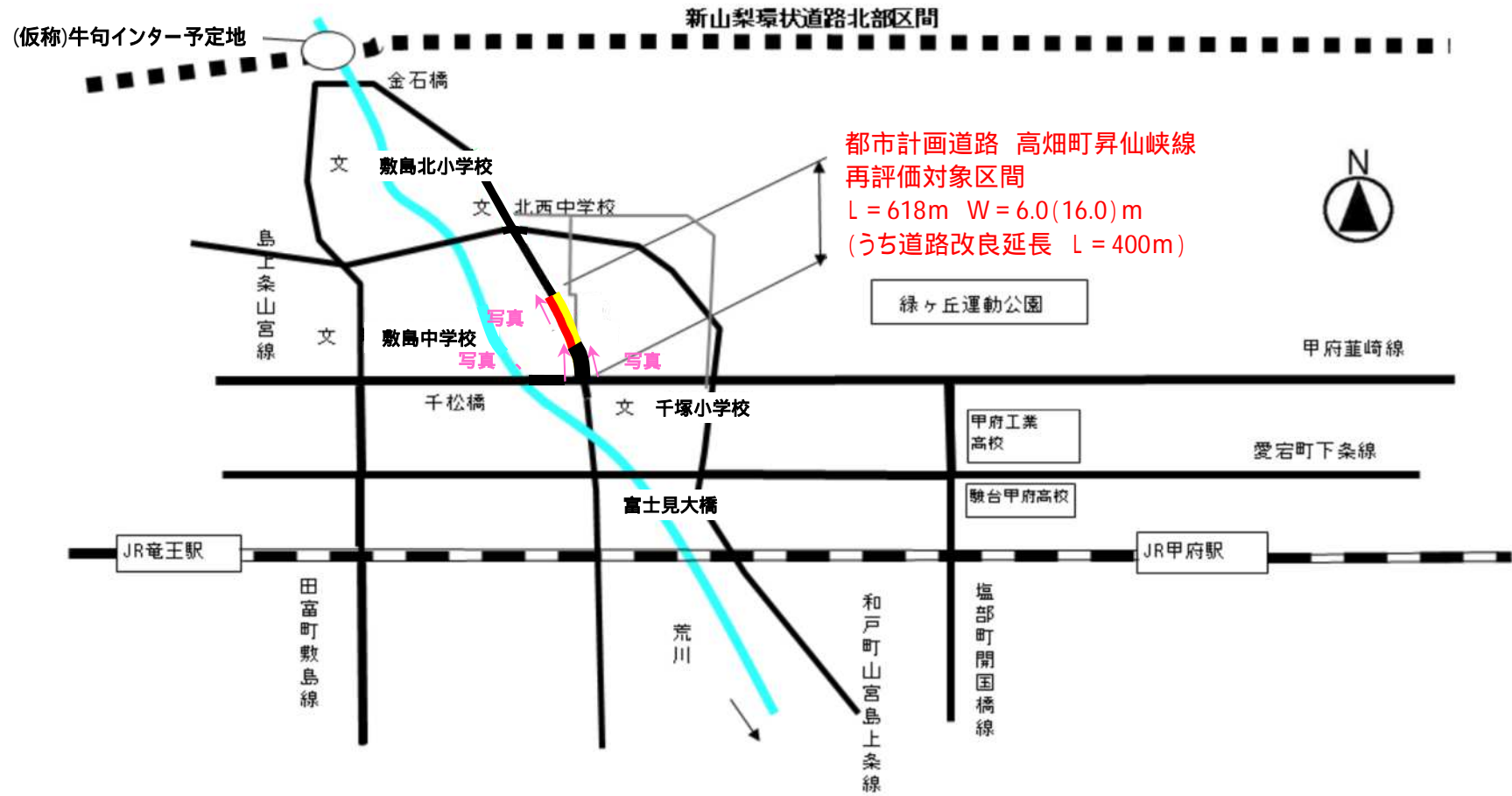
なし

(8) 所管部の今後の方針 **継続・見直し継続** その他（ ）

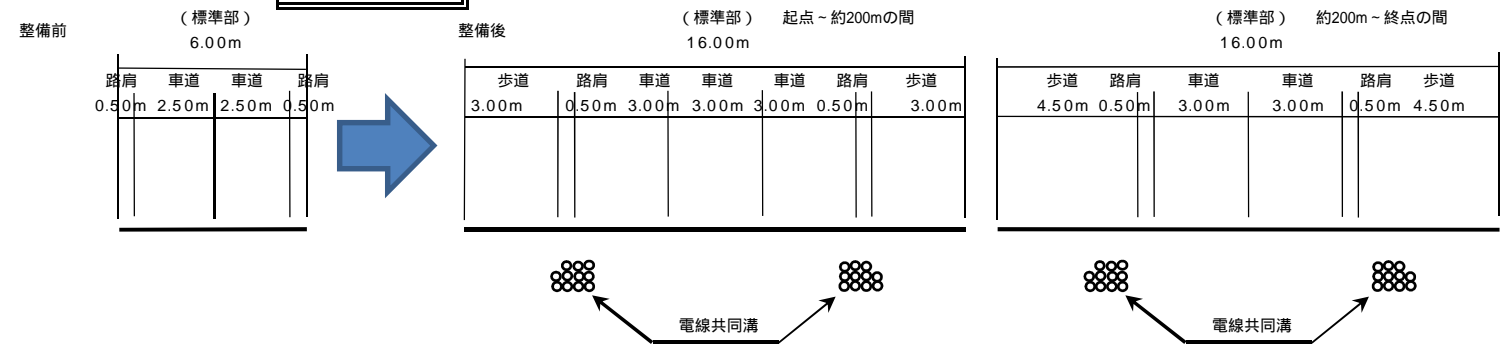
(理由)

幹線道路ネットワーク、生活道路及び将来的には新山梨環状道路へのアクセス道路として重要な路線であることから、総事業費の増額および事業期間を2年延長し、継続する。

3. 添付資料シート(1)



標準横断面



| 凡例 | |
|---|---------|
| | H26年度まで |
| | H27年度 |
| | H28年度以降 |

添付資料シート(2)

写真 現況写真 起点から事業区間を望む



写真 現況写真 中間狭隘部



写真 現況写真 終点側付近



写真 着手前写真 中間狭隘部



年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

| 年度 | 見直し後事業費（千円） | 事業概要 | 進捗率 |
|-----|-------------|--------------------------------------|--------|
| H22 | 34,722 | 測量、設計、調査 | 2.2% |
| H23 | 246,669 | 測量、設計、調査、用地、補償 | 17.9% |
| H24 | 312,918 | 設計、用地、補償 | 37.9% |
| H25 | 328,231 | 用地、補償、電線共同溝 L = 454m、道路改良 L = 250m | 58.8% |
| H26 | 79,120 | 用地、補償、電線共同溝 L = 295m、舗装工 L = 210m | 63.8% |
| H27 | 138,528 | 用地、補償、道路改良 L = 100m、電線共同溝工事 L = 140m | 72.6% |
| H28 | 310,000 | 用地、補償、電線共同溝 L = 350m、道路改良 L = 350m | 92.4% |
| H29 | 100,000 | 補償、舗装工 L = 400m | 98.7% |
| H30 | 19,812 | 補償 | 100.0% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 1,570,000 | | |

道路改良及び電線共同溝延長は、片側改良を含むため、路線延長とは一致しない。